

「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」に向けた研修会及び説明会開催要項

小中学校課

1 目 的

- 「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」に鳥取県代表チームとして出場する生徒に対して、全国大会の競技内容や日程などを説明し、鳥取県代表としての自覚を深める。
- 全国大会で出題される問題の傾向について、鳥取環境大学の教員からアドバイスをいただき、全国大会への事前準備を行う。
- 全国大会の日程などを参加生徒及び引率教員に説明する。

2 日 時 令和3年11月14日（日） 午前10時15分から正午まで

3 会 場 公立鳥取環境大学 学生センター2階 多目的ホール
〒689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号
電話（0857）38-6700（代表）

4 参加者 全国大会出場生徒：6名（湯梨浜学園中学校3名、鳥取大学附属中学校3名）
引率教員：2名（湯梨浜学園中学校教員、鳥取大学附属中学校教員）

5 指導教官 公立鳥取環境大学人間形成教育センター 准教授 久保 奨 氏

6 日程及び内容

時 間	内 容
9：45～10：00	準備
10：00	参加生徒及び引率教員集合
10：15～10：30	全国大会参加の説明
10：30～12：00	研修（情報関係：久保 奨 先生）
12：00～12：30	参加生徒及び引率教員解散・片付け

※ 令和3年7月21日付第202100106922号「大会への参加及び大会実施におけるガイドライン」の運用について（鳥取県教育委員会教育長通知）に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を施した上で、研修会を実施します。

7 持ち物

- ・マスク、筆記用具等
- ※ 上履きは不要です。

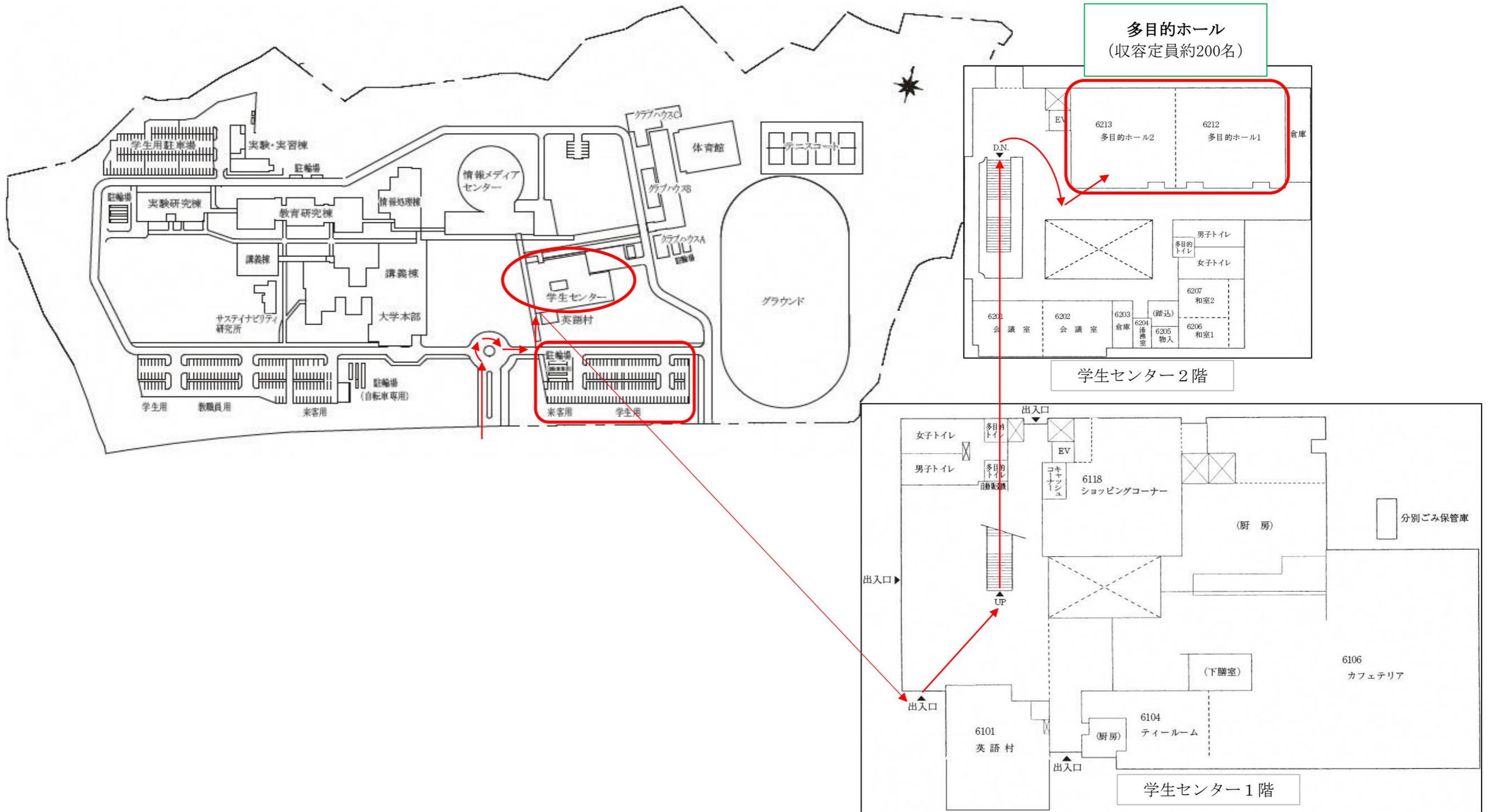
8 その他

- ・公立鳥取環境大学へは各自で集合すること。
- ・当日、発熱等により体調が優れない者は参加を取りやめること。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、開催方法及び日程等について変更の可能性があります。変更がある場合は、参加校に直接連絡します。

9 問合せ先

鳥取県教育委員会事務局 小中学校課 指導担当 嶋田
電話 0857-26-7935 電子メール shimadata@pref.tottori.lg.jp

公立鳥取環境大学-多目的ホール案内





R03 理数第 208-2 号
令和 3 年 1 0 月 2 6 日

各都道府県教育委員会
中学校教育事務主管課長 様

国立研究開発法人科学技術振興機構
理数学習推進部長 大槻 肇
(公 印 省 略)

第 9 回科学の甲子園ジュニア全国大会の分散開催での実施及び
実施要項の送付について

平素より当機構の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第 9 回科学の甲子園ジュニア全国大会は、下記の通り、新型コロナウイルス感染防止等の観点から、分散開催で実施することといたしました。

各都道府県教育委員会の皆様におかれましては、会場確保及び競技監督（競技支援員）でご協力頂くとともに、代表チームへの分散開催での実施についてのご周知よろしくお願い申し上げます。

なお、分散開催の内容については、別紙の実施要項をご参照ください。

記

1. 分散開催で実施する理由

新型コロナウイルス感染症は、デルタ株のまん延により若年層にも感染リスクが高くなっている。10月下旬現在、感染者数は第5波と比べ大幅に減少したが、若年層のワクチン接種率は他の年代よりも低いことや、全国大会開催期間に実際に新型コロナウイルス陽性者が出た場合、公共交通機関が使用できず帰宅困難となり、中学生が遠方での滞在を強いられることなどを総合的に勘案し、分散開催が適切と判断した。

2. 分散開催の内容

別紙の実施要項を参照。

以上

本件についてのお問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）理数学習推進部
科学の甲子園ジュニア事務局 西村、芝野、村田、野崎
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル14階
電話：048-226-5665
E-mail：koushien-jr@jst.go.jp

第9回科学の甲子園ジュニア全国大会 実施要項

1. 目的

第9回科学の甲子園ジュニア全国大会(以下、「全国大会」という。)は、理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とする。

2. 全国大会の実施・協力体制

- ① 主催： 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
- ② 共催： 兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市
- ③ 後援： 文部科学省、全日本中学校長会、全国中学校理科教育研究会、
公益社団法人日本理科教育振興協会
- ④ 都道府県教育委員会、その他の関係機関の協力を得て開催する。

3. 実施方法

新型コロナウイルス感染防止等の観点から、当初予定していた兵庫県姫路市での集合開催ではなく、各都道府県代表チームが各都道府県の会場に集合して実施する「分散開催」とする。

なお、感染状況悪化により休校となるなど、各都道府県会場にも集合できない都道府県代表チームは、在宅での筆記競技の体験参加とする。

4. 開催日程

- 令和3年12月3日(金)： 開会式(オンライン視聴)、筆記競技
令和4年1月17日(月)： 表彰式(オンライン視聴)
(令和3年11月下旬～1月上旬： 体験実技)
(令和4年1月17日(月)～1月21日(金)： オンラインツールを用いた交流期間)

5. 開催場所

各都道府県教育委員会が確保した会場

6. 出場チーム

- ① 都道府県で選出された47チームを全国大会の出場チームとする。
- ② 全国大会出場チームは、1都道府県1チームとする。
- ③ 出場チームは中学1、2学年の生徒(中等教育学校前期課程にあつては同年次の生徒)で構成する。
- ④ 出場チームの人数は6人とする。
- ⑤ 各学校引率教員1名が同行する。

7. 競技について

大会競技は筆記競技のみとする。分散会場での実技競技の公平な環境の提供が難しいため、実技競技は実施しない。

筆記競技は理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の修得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。

種目	出題分野	競技者数	配点	競技時間
筆記競技	物理、化学、生物、地学、 数学、情報分野から出題	6名	300点 (50点×6題)	70分

8. 体験実技

前項の通り、実技競技は実施しないが、実技競技の体験を目的とした、「体験実技」の課題を提供する。体験実技は、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する体験が出来る内容とする。

12月3日(金)の一斉実施ではなく、体験期間(11月下旬～1月上旬を想定)内に、代表チームそれぞれで任意で体験及びレポート作成・提出する形式とする。

提出されたレポートの優劣は付けず、代表チーム間で共有し、他チームの工夫を見ることで気づきを得る設計とする。

なお、体験やレポート提出の有無は、総合成績には影響しない(あくまで任意での実施)。

種目	出題分野	体験者数	実施方法
体験実技	ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する体験が出来る内容	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12/3 一斉実施ではなく、体験期間(11月下旬～1月上旬を想定)内に代表チームそれぞれで実施。 ・ 体験・レポート提出ともに任意。 ・ 提出レポートの優劣は付けず、代表チーム間で共有。

9. 表彰等

- ① 主催者が定めた審査委員会が、筆記競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定する。
- ② 優勝チームに、文部科学大臣賞を授与する。
- ③ 主催者は協賛企業等を広く募り、その他の表彰を授与する。
- ④ 大会成績上位の出場チーム名を公表する。出場チームの成績は当該教育委員会に提供する。

10. 費用負担

- ① 出場チームの選手及び引率教員の各都道府県会場までの旅費については、原則として主催者が負担する。
- ② 競技運営を支援する都道府県教育委員会指導主事等の各都道府県会場までの旅費は原則として主催者が負担する。
- ③ 会場設営にかかる費用(会議室の借料等)は主催者が負担する。なお、会場に設置する衛生備品(消毒液等)は主催者から都道府県教育委員会へ送付する。

11. 運営

全国大会の運営のため、JST 理事を委員長とする「科学の甲子園ジュニア全国大会実行委員会」を設置する。

12. その他

- ① 主催者から別途送付する健康管理表に基づき、参加者は開催2週間前から体温、自覚症状をチェックする。参加不可項目に該当した場合は、参加できない。
- ② 感染状況悪化により休校となるなど、各都道府県会場に集合できない代表チームは、在宅での筆記競技の体験参加とする。この場合、あくまで体験参加であり、チームの記録は参考記録となり、表彰対象外とする。
- ③ 全国大会における個人情報及び肖像権の取り扱いについては別途通知する。

以上

「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」スケジュール

令和3年12月3日(金)

時間	プログラム
14:45	代表チーム集合
14:45～15:00	競技監督に健康管理表を提出。
15:00～15:30	開会式(オンライン視聴。アーカイブ配信もあり。)
15:40	着席(筆記競技開始20分前に着席。選手による教具動作確認、諸注意連絡を実施。)
16:00～17:10	筆記競技(70分)
17:10～17:30	答案回収等
17:30	代表チーム解散

※ 上記が標準的なスケジュールですが、各都道府県の状況により、時間が変更になる場合があります。集合場所、集合時間については各代表チームの窓口の先生に別途ご連絡いたします。

令和4年1月17日(月)

時間	プログラム
16:30～17:00	表彰式(オンライン視聴。アーカイブ配信もあり。) ※ チームメンバーが一カ所に集まる必要はない。 ※ 表彰式終了後、優勝チームのキャプテンには電話でインタビュー予定(代表チームの引率の先生にお電話する予定)。

【体験実技】

令和3年11月下旬

体験実技課題の送付(各都道府県教育委員会経由で代表チームへ送付)

令和3年11月下旬～1月上旬

各代表チームで体験及びレポート作成(任意)

令和4年1月上旬

レポート提出期限(任意)。未提出チームも含め、代表チーム間で提出レポートを共有。

【オンライン交流】

令和4年1月17日(月)～1月21日(金)

オンラインツールを用いた交流期間

※ 上記スケジュールは予定であり、変更となる可能性がある。